

篇

(\$ L500 -)

実用新案登録願(3)

昭和 47年 3月 7日

特許庁長官 井 土 武 久殿

〒

氏 名 ^跨 3. 実用新案登録出願人

(E 所 東京都大田区中馬込/の3の6

名 株 (674) 株式会社 リ コ ー

4. 代 理 人 〒156

作 所 東京都世田谷区桜丘2丁目6番28号

5. 添付書類の目録

(1) 明細書 1 通 (2) 図 面 1 通

 (2)
 図
 面
 1
 通

 (3)
 願書副本
 1
 通

(4) 委任状 1 通

48-104334-01

48-154334-61

考案の名称 複写機の複写紙用カセット 実用新裳登録請求の範囲

複数枚の一定サイズの複写用紙を内部に装填し、かつ個平箱型の形状をなしていて、用紙の端線と対応している少くとも一つの端板にかいで、用紙端線と平行をなす一般線を残し、かつこの異ないので、から、から、上記端板を折り返しに変した。 を使いて、上記端板を折り返したりをはるというが成立れた。 とではなれる着説用のフックとから成る複写紙用カセット。

考案の詳細な説明

本考案は彼写版の複写紙用カセットに関するものである。

被写機に所要の複写紙(以下用紙と呼ぶ)を供給する一般的な手段として、ロール状に巻かれた用紙を解きほぐして所定位置に供給し、複写の都医所要の大きさに微断する方法と、予じめシート

48-104334-02

-48=104334=02

15

10

1

ならず甚だ煩わしかつた。

本考察の目的は、これらの煩雑さを排除すると 共に、従来の給紙台に必要であつた調整板を取除 くととにあり、詳しくいえば、一定サイズに被断 された用紙を使いすて自在のカセット内に動め、 かつ、用紙の使用時にないては、カセットの一部 を破職して着脱用フックを形成し、複写機に対す る複写紙の着説を容易に行い得るようにした複写 紙用カセットの提供にある。

以下図示の実施例によつて本考案を説明する。 34 / 図は複写紙用カセット/の全体を示してい て、その内部には乗る凶に示すように一足サイズ の用紙(復写紙)」が装填されている。カセット 1の各個板のりち、用紙の端級と平行をなす一端 板3にかいて、一つの機能Jaと対応しない三つの 囲鹽4には帯状の剣雕邸ヶが設けられている。上 記藏録Jaは用紙ュの階級と平行してかり、剝離部 ゞは、増板3に近い側の、囲懸≠の増節に配置さ れていて、1本の点額をなす刻みもりによつて形 48-104334-04 成されている。

すなわち、剝離部まを解る図に示すようにかせ ットノから取除くことにより、端板はは、被機が のみを介してカセットノに取り残される。この結 果、端板はは、解る図に示すように矢印をの向き に折り返すことができ、この折り返しによつてフ ックリが形成される。

46-164334 05

+ 05

` **- #** -

けださ

1!

送されるようになつている。

カセツトノは、適当な厚さをもつ紙あるいはこ れに代る合成紙等が適宜用いられ、カセツトノ内 の用紙ュが複写によつてなくなつたときにはその まる捨て去られる。従つて、複写版に対する用紙 2の設定は、これを内装するカセット / の剣崖部 ょを罵る図に示すように取除いて、 帰板 3 を戻る 図に示すように反対側に折り返すのみで容易に、 かつ迅速に行うととができる。また、用紙4の、 船紙方向に対する両側線は、用紙 4 をカセット/ 内に収容することによつて予じめ整えられている ので、従来の給紙台において必要であつた調整板 は全く不畏のものとなる。そして、カセツトノ内 の用紙コと異るサイズの用紙を使用したい場合に 支持板 // を矢印 /2 と反対の向きに回すこと により、所要のサイズの用紙収容したカセットと 容易に交換することができる。

支持板 3 に対してカセットを装着させるに設し、 カセットの下端部を基準として支持するようにす ると、カセットのサイズの変化によつて、用紙 4

> 48-104334-05 48-104334-06

1

•

10

の舞出部の高さが異つて来る。一方、給紙ローラー 13の位置は、複写機内において一定の場所に配置 されているために、用紙ょの貫出部を給紙ローラー 13に当妻させるためには、カセットのサイズが異 る缶にその位置を調整しなければならないので非 常に煩わしい。この点、戚ノ図に示されるカセツ トノは、上端部を基準として、すなわち用紙1の 上端から常に一定の距離にフック!が形成される ので、カセット / を支持板 // に設着したときには、 用紙3の第出掛は自動的に給紙ローラーノ3に巻接 し得る位置にセットされている。との結果、任意 サイメのカセットにフックを形成して支持板!!に 鼓着するのみで、用紙2の所製の端部が、用紙の サイズに拘りなく給紙ローラーと当姿し、カセツ トノの上下方向への位置を自動的に改足すること ができる。

なお、カセットノに対する剝離部3の形成は、 ボノ圏に示すよりにその長手方向の端部に限定す るものでは、幅方向の端部に設けてもよい。その 理由は、たとえば AF ならびに AS のサイズの用紙

- 6 -

48-104334-07 -48-164334-67 が用いられる被写機において、A*サイズの用紙の幅とA5サイズの用紙の凝とは等長であるため、A*サイズの用紙は長手方向に、そしてA5サイズの用紙は短手の向きに搬送した方が都合がよい場合があるためで、カセットにおける料膳部の位置は、用紙のサイズならびに複写機の機能によつて適宜。 選択される。

図面の簡単な説明

出ノ図は、本考案の一実施例を示す被写紙用カセットの斜視図、単2図は、カセットの制雕部を取外し状態を示す斜視図、単3図はカセットに形成されるフックの側面図、単4図は、被写像に接着されたカセットの側面図である。

/---被写紙用カセット 2---被写紙(用紙) 3---倒板 5---制離学

代 理 人 樺 山

*

20

10

-7-

48-104334-08

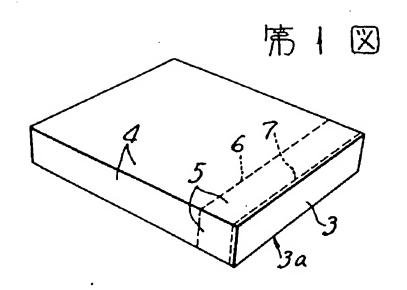
5

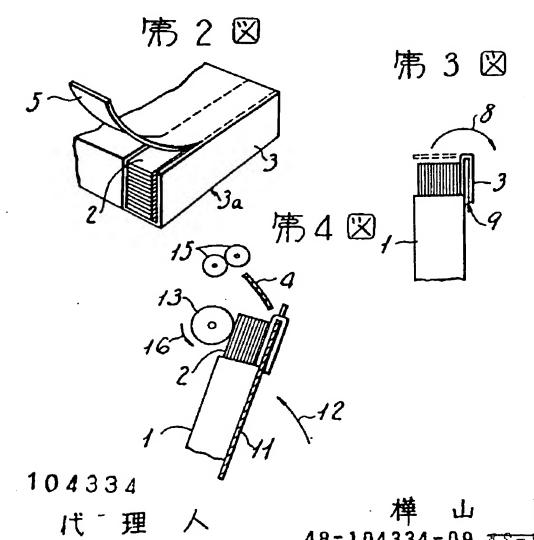
1

10

15

'n





48-104334-09 48-

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

☐ OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.